



青い風 早川 義孝展

2012年
6月24日(日)～8月5日(日)

幻想画人・早川義孝氏の、叙情的でどこか懐かしい
メルヘンの世界をご紹介します

休館日：月・火曜日(祝日は開館)

開館時間：午前9:30～午後5:00(入館は午後4:45まで)

入場料：一般600円(前売り400円)、高大生300円、中学生以下無料

主催：ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館) 協賛：株式会社ミウラ

後援：愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、柏市、柏市教育委員会、新槐樹社、愛媛新聞社、南海放送、

テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

青い風 2012年

GICO HAYAKAWA

MIURART VILLAGE
MIURART



追憶記 2006年



鳥追う目 1999年



月に遊ぶ 1999年



シンドバッドの船 2011年



エイプリルシャワー 1998年

この度、ミウラート・ヴィレッジでは、幻想画人「青い風—早川義孝展」を開催いたします。

早川義孝氏は東京都に生まれ、戦時下の疎開により千葉県柏市に移り住みます。絵を描き始めて間もない高校2年生の時に、第5回全日本学生油絵コンクールに出品し、最高賞の文部大臣賞を受賞、翌年にも前代未聞となる連続受賞を成し遂げました。また、パリの格式の高い画廊ギャリ・マルセル・ベルネームで個展を開催したことで、海外でも注目される存在となりました。現在は、新槐樹社名誉会長として芸術の普及に活躍しております。

当時の柏市は、常総台地に田園が広がる豊かなところで、一生この地で過ごすことと決意するほど氏にとって魅力ある風土を持っていました。蝶や、サーカス、灯台など、その環境の中で大切にしていたものが自然と画面に描かれ、作品からは言葉に表せないような懐かしい幻想的なメルヘンの世界が飛び出していきます。

また、氏の描く絵は音楽とも深く結びついています。生涯のテーマとされている代表作「シンドバッドの船」は、リムスキー=コルサコフの交響組曲「シェヘラザード」第1楽章からインスピレーションを受けて描かれています。独特の形をした浮かび上がる船は、古代模様の装飾が施され、ひと際その存在を主張します。幾度も作品に登場してくる斬新な色彩と個性的な構図は、年を経ても変わらず画面に溢れ、魅力ある世界は広がってゆくばかりです。

今展では、早川義孝氏の叙情的で幻想的な作品群と、特に、今展のために松山の風景に詩を添えて描いた詩想画作品6点をご紹介します。氏の「松山」への心象はどのように描写されたのか、ご鑑賞いただければ幸いです。

ミウラート・ヴィレッジ

次回展覧会：郷土の生んだ大画家 三輪俊助展（絵画）
2012年8月19日（日）～9月30日（日）



MIURART VILLAGE
MIURART
ミウラート・ヴィレッジ（三浦美術館）

〒799-2651 愛媛県松山市堀江町1165-1
TEL 089-978-6838 FAX 089-978-0323
<http://www.miuraz.co.jp/miurart>
E-mail: fvb2360@mb.infoweb.ne.jp

駐車場：30台と 休日は臨時駐車場（三浦工業福角駐車場 約250台）をご利用いただけます。

公共交通機関をご利用の場合

- ◆JR松山駅より市内電車にて松山市駅へ、伊予鉄バス北条行き「内宮バス停」又は「花見橋バス停」下車 徒歩約10分
- ◆松山空港より車で約30分